

別紙

温室効果ガス排出削減計画

氏名	(法人にあっては名称) 岡山ブタジエン株式会社		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒103-0023 東京都中央区日本橋本町3-1-11	
本票作成	部署名：日本ゼオン株式会社 水島工場 企画管理課				
主たる業種	分類コード	1	6	業種名：化学工業	
事業の概要	合成ゴムの原料であるブタジエンの製造				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	岡山ブタジエン株式会社 水島工場		岡山県倉敷市児島塩生字新浜 2767-1	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 1 所 ●車両台数 (②該当の場合) 0 台)				

計画期間	平成22年度		～	平成25年度 (4 箇年度)		
削減目標	いずれかを選択	<input type="checkbox"/> 総排出量基準		目標削減率 1.0 %	目標区分	
		<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準				20%以上
温室効果ガス排出量	基準年度 (平成21年度)			目標年度 (平成25年度)		
	60,200 t CO ₂			59,598 t CO ₂		
基準年度の主な工場等の排出量	番号	工場等の名称		基準年度 (平成21年度) の排出量		
	①	岡山ブタジエン株式会社 水島工場		60,200 t CO ₂		
				t CO ₂		
				t CO ₂		
				t CO ₂		

※ 「計画期間」欄には、5箇年度以内で特定事業者が定める期間を記入する。

(原単位基準の削減目標を選択した場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 ブタジエン生産量	原単位当たり排出量	
		基準年度	目標年度
		433.7 t CO ₂ / (千t)	429.4 t CO ₂ / (千t)

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値 (年度)	達成率 (%)
指標の状況				

【目標削減率設定の基本的な考え方】

岡山ブタジエン株式会社 水島工場では、ブタジエン生産量が増加するとCO₂排出原単位が悪化するためブタジエン生産量に大きく左右される。そのためブタジエン生産量とCO₂排出量の実績カーブから実績生産量のポイントで1%削減を目標とした。目標削減率設定の基本的な考え方は、ブタジエン生産プラントは世界49箇所に技術供与されている技術完成度の高いプラントである為、ハード面での省エネルギーの余力は少ない。ソフト面の管理強化を中心に削減を見込む。

【目標削減率達成のための推進体制】

岡山ブタジエン株式会社は、社長を責任者としたエネルギー管理組織で推進している。工場エネルギー管理は日本ゼオン（株）水島工場と一緒に取り組んでいる。

【排出量削減のためのこれまでの主な取組】

工場等の名称	取組内容
岡山ブタジエン株式会社 水島工場	<ul style="list-style-type: none"> ・ 製品中の微量不純物濃度割合を見直す事による蒸留塔の蒸気量削減 (2008年度) ・ 第一抽出塔Feed段変更による蒸気量削減 (2007年度) ・ 製品規格を見直す事による蒸留塔の蒸気量削減 (2007年度) ・ 冷水塔送風機回転数制御による電力削減 (2005年度)

【計画期間中に目標削減率を達成するために実施する措置】

工場等の名称	措置内容
岡山ブタジエン株式会社 水島工場	<ul style="list-style-type: none"> ①高度制御による廃熱回収強化での蒸気量削減 (2010年度/500tCO2) ②運転標準の見直しによる用役量削減 (2010年～2014年度/100tCO2) <ul style="list-style-type: none"> ・ 溶剤比下限値見直しによる蒸気使用量削減 ・ 最適還流比運転による蒸気使用量削減 ・ 夏場不要トレース停止による蒸気使用量削減 ・ 副原料タンク循環停止による電気使用量削減 等

【森林保全等吸収源対策への取組計画】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入計画】

県内での取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】

全員参加のZΣ活動（コストダウン活動）によりさまざまな改善活動を実施している。